

環境保全型農業直接支払交付金に関するアンケート調査票 (① 農業者用)

御回答いただく方へ

※1 黄色く着色した部分について、御記入をお願いいたします。

※2 本アンケートの回答にあたっては、御記入いただく方が把握しておられる範囲での回答で結構です。

団体で取り組む方は、団体としての状況を御記入ください。団体としての回答が困難な場合は回答者の方の状況を御記入ください。

(取組状況の詳細について、団体の構成員全ての方に確認していただく必要はありません)。

市町村の担当者様へ

※1 青く着色した部分については、市町村で御記入いただきますよう、お願ひいたします。

※2 中山間地における要件緩和については、環境保全型農業直接支払交付金に係る営農活動計画書(3号事業様式)の「4交付金額」の「取組面積の過半が中山間地域」の欄へのチェックの有無により、「1」か「2」のいずれかに「■」を付けてください。

※3 複数取組については、営農活動計画書における2取組目の記載の有無によって「1」か「2」のいずれかに「■」を付けてください。

都道府県名 :	<hr/>	
市町村名 :	<hr/>	
農業者団体名 :	<hr/>	
代表者氏名 :	<hr/>	
所在地 :	<hr/>	
電話番号 :	<hr/>	

環境保全型農業の取組を開始した年度 :	(平成) <hr/>	年度 <hr/>
環境保全型農業直接支払の取組を開始した年度 :	(平成) <hr/>	年度 (平成23~28年度のいずれか)
構成員の合計数 :	<hr/>	人(直近の人数)
うち、環境保全型農業直接支払に取り組む者の数 :	<hr/>	人(直近の人数)

中山間地における要件緩和 : 1 適用する
 2 適用しない

複数取組数 : 1 あり
 2 なし

取組形態 : <農業者の組織する団体>
 1 農協の生産部会
 2 集落営農組織
 3 環境保全型農業(有機農業)により生産された農産物の出荷団体
 4 環境保全型農業(有機農業)に関する研究会等のグループ
<一定の条件を満たす農業者>
 5 集落の耕地面積の一定割合以上の農地において、対象活動を行う農業者
 6 環境保全型農業を志向する他の農業者と連携して、
 7 環境保全型農業の拡大を目指す取組を行う農業者
 7 複数の農業者で構成される法人

【環境保全型農業直接支払交付金の取組について】

○全ての方にお聞きします。

問1 環境保全型農業直接支払交付金(以下「交付金」という。)の取組を始めた目的はどのようなものですか。

※ 最も当てはまるものについて、①の列に1つ「■」を付けてください。

また、その次に当てはまるものがある場合は、②の列に1つ「■」を付けてください。

① ②

- 1 以前から環境保全型農業に取り組んでいたから
- 2 地域の自然環境や自分や家族の健康状態に課題があったから
- 3 環境保全(地球温暖化防止や生物多様性保全)に貢献したいと思ったから
- 4 販売価格を上げたかったから
- 5 取組の実施に対して交付金が出るから
- 6 環境保全型農業で生産された農産物を提供したかったから
- 7 環境保全型農業で生産された農産物の要望や需要があったから
- 8 市町村やJAが推進していたから
- 9 周りがやっているから
- 10 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

○全ての方にお聞きします。

問2 28年度の交付金を何に活用しましたか。また、活用した用途にどの程度効果がありましたか。

※ 交付金の用途で最も割合の多いものについて、①の列に1つ「■」を付けてください。

また、その次に多いものがある場合は、②の列に1つ「■」を付けてください。

さらに、選んだ交付金の用途によりどのような効果がどれほどあったかについて、それぞれの効果項目の欄に主なもの2つまで、以下の1~4のうち該当する番号を御記入ください。

- 1 非常に効果があった
- 2 ある程度効果があった
- 3 あまり効果はなかった
- 4 効果はなかった

交付金の用途	①	②
A 営農活動への補填	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B 事務作業への手当	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C 推進活動の実施	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D 農機具・設備の購入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
E 土壌診断・土壌改良	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
F 販売促進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
G その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

効果項目	① (1~4)	② (1~4)
A 経営の安定		
B 収量増加		
C 品質向上		
D 生産コストの削減		
E 販路拡大		
F 有利販売		
G 新規就農・転換者の増加		
H 地域の活性化(消費者との交流、地域資源の活用など)		
I その他		

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

○全ての方にお聞きします。

問3-1 平成31年度までに、交付金の取組面積をどのようにしたいと考えていますか。

※ 右表の問3-1の列に取組の種類それれについて、以下の1~7のうち該当する番号を御記入ください。

※ 各都道府県における地域特認1~16の該当については、別紙を参照してください。該当する分類の取組が都道府県にはない場合は空欄で結構です。

- 1 既に耕作している農地の範囲内で拡大したい
- 2 農地の貸借・取得等により、拡大したい
- 3 現在は取り組んでいないが、今後取組を検討したい
- 4 現状程度で続けたい
- 5 縮小したい
- 6 やめたい
- 7 今後とも取り組む予定はない

○問3-1で、「1~3」と回答された方にお聞きします。

問3-2 予定どおり取組の拡大が進んでいますか。

※ 右表の問3-2の列に以下の1~3のうち該当する番号を御記入ください。

※ 問3-1で「3」と回答された場合は、予定どおり取り組みを開始できそうか否かという観点から回答してください。

- 1 予定より早く進んでいる
- 2 予定どおり進んでいる
- 3 予定どおり進んでいない

○問3-2で、「3」と回答された方にお聞きします。

問3-3 拡大の支障になっているものはどのようなものですか。

※ 右表の問3-3の列に以下の1~9のうち該当する番号を御記入ください。

- 1 農地の貸借・取得等
- 2 農地の集約
- 3 生産の不安定さ
- 4 環境保全型農業の技術の習得
- 5 労働力不足
- 6 資金不足
- 7 新たな販売先の確保
- 8 地域の理解不足
- 9 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

取組の種類	問3-1 (1~7)	問3-2 (1~3)	問3-3 (1~9)
カバークロップ(緑肥)の作付け			
堆肥の施用			
有機農業			
地域特認 (1) リビングマルチ			
地域特認 (2) 草生栽培			
地域特認 (3) 冬期湛水管理			
地域特認 (4) IPM①			
地域特認 (5) IPM②			
地域特認 (6) 江の設置			
地域特認 (7) バンカープランツ			
地域特認 (8) 中干し延期			
地域特認 (9) 夏期湛水管理			
地域特認 (10) 在来草生栽培			
地域特認 (11) 炭の投入			
地域特認 (12) 魚類保護			
地域特認 (13) 敷草栽培			
地域特認 (14) 省耕起栽培			
地域特認 (15) 緩効性肥料			
地域特認 (16) 光利用技術			

○全ての方にお聞きします。

問4 平成28年度は、どの推進活動を実施しましたか。また、その推進活動の実施によって、具体的な効果が現れたものはありませんか。

※ 右表に取り組んだ推進活動の全てに「○」を付けてください。

また、その推進活動に取り組んで現れた具体的な効果として最も当てはまるものについて、右表に以下の1~9のうち該当する番号を御記入ください。

推進活動	取り組んだ 推進活動	具体的な効果 (1~9)
【自然環境の保全に資する農業の生産方式を導入した農業生産活動の技術向上に関する活動】		
A 自然環境の保全に資する農業の生産方式に関する検討会の開催		
B 技術マニュアルや普及啓発資料などの作成・配布		
C 実証圃の設置等による自然環境の保全に資する農業の生産方式の実証・調査		
D 先駆的農業者等による技術指導 自然環境の保全に資する農業の生産方式に係る共通技術の導入や共同防除等の実施		
【自然環境の保全に資する農業の生産方式を導入した農業生産活動の理解増進や普及に関する活動】		
F 地域住民との交流会(田植えや収穫等の農作業体験等)の開催		
G 土壌分析や生き物調査等環境保全効果の測定		
H 先進的取組の展示効果を高めるための標示		
【自然環境の保全に資する農業の生産方式を導入した農業生産活動により生産された農産物の販売促進に関する活動】		
I 農産物の販路拡大等に向けた流通・販売業者や消費者等との意見交換会の開催や J 商談会への出展		
J 農業者団体等における商品開発や共同ブランドマークを活用した販売		
K 農業者団体等の構成員の連携による直売		
【その他】		
L 農業者団体等における商品開発や共同ブランドマークを活用した販売		
M その他自然環境の保全に資する農業生産活動の実施を推進する活動		

- 1 具体的な効果はわからない
- 2 収量増加
- 3 品質向上
- 4 生産コストの削減
- 5 販路拡大
- 6 有利販売
- 7 新規就農・転換者の増加
- 8 地域の活性化
- 9 その他

具体的な効果として、その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

【持続的に耕作可能な農地の維持について】

○全ての方にお聞きします。

問5-1 土壌診断を定期的に実施していますか。

※ 該当するものについて、主なもの1つに「■」を付けてください。

- 1 毎年実施している
- 2 1~2年おきに定期的に実施している
- 3 3~4年おきに定期的に実施している
- 4 一度したことはあるがその後していない
- 5 実施したことがない

○全ての方にお聞きします。

問5-2 環境保全型農業の実践により、今後も持続的に耕作可能な農地の維持ができますか。

(ここでいう、持続的に耕作可能な農地とは、土壌劣化や連作障害などの課題を抱えることなく安定的に営農活動を継続できている状態のことです。)

※ 最も近いもの1つに「■」を付けてください。

- 1 安定して維持・改善できている
- 2 交付金があることで維持できている
- 3 交付金があるものの維持できていない

○問5-2で「3」と回答された方にお聞きします。

問5-3 持続的に耕作可能な農地を維持できていない方は、どのような課題がありますか。

※ 該当するものについて、主なもの1つに「■」を付けてください。

- 1 土壌の物理性に関する課題(土壌侵食、排水不良等)
- 2 土壌の化学性に関する課題(養分の保持力、pH等)
- 3 土壌の生物性に関する課題(病虫害、生物活性等)
- 4 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

○全ての方にお聞きします。

問5-4 環境保全型農業を始めてから持続的に耕作可能な農地の維持ができるようになるまで何年程度必要だと考えますか。

※ 有機農業については、①の列に1つ「■」を付けてください。

その他の環境保全型農業については、②の列に1つ「■」を付けてください。

①	②
<input type="checkbox"/>	1 「1年」
<input type="checkbox"/>	2 「2年」
<input type="checkbox"/>	3 「3年」
<input type="checkbox"/>	4 「4年」
<input type="checkbox"/>	5 「5年」
<input type="checkbox"/>	6 「6~7年」
<input type="checkbox"/>	7 「8~9年」
<input type="checkbox"/>	8 「10年以上」

【安定的な経営状況の確保について】

○全ての方にお聞きします。

問6-1 環境保全型農業の実践により、今後も安定的な経営状況を継続できる収入を維持できていますか。

※ 最も近いもの1つに「■」を付けてください。

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 安定して維持・拡大できている |
| <input type="checkbox"/> | 2 交付金があることで維持できている |
| <input type="checkbox"/> | 3 交付金があるものの維持できていない |

○全ての方にお聞きします。

問6-2 環境保全型農業を始めてから安定的な経営状況を継続できる収入を維持できるようになるために何年程度必要だと考えますか。

※ 有機農業については、①の列に1つ「■」を付けてください。

その他の環境保全型農業については、②の列に1つ「■」を付けてください。

(1)	(2)
<input type="checkbox"/>	1 「1年」
<input type="checkbox"/>	2 「2年」
<input type="checkbox"/>	3 「3年」
<input type="checkbox"/>	4 「4年」
<input type="checkbox"/>	5 「5年」
<input type="checkbox"/>	6 「6~7年」
<input type="checkbox"/>	7 「8~9年」
<input type="checkbox"/>	8 「10年以上」

【新規就農者や慣行農業からの転換者の参入・定着について】

○全ての方にお聞きします。

※ 環境保全型農業を行う新規就農者については、①の列に御記入ください。

慣行農業から環境保全型農業への転換者については、②の列に御記入ください。

問7-1 交付金の取組開始以降、環境保全型農業を始めた農業者はいますか。

※ 該当するものについて、主なもの1つに「■」を付けてください。

※ 「現在も環境保全型農業を行っている」については、団体の構成員として活動していない場合も含めてください。例えば、新規就農者が団体の中で農業研修を受け、現在は独立して環境保全型農業に取り組んでいる方がいるような場合は、選択肢1の行に「■」を付けてください。

①	②
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- 1 交付金の取組開始以降、環境保全型農業を始めた者はいない
- 2 環境保全型農業を始めた者がいて、現在も環境保全型農業を行っている
- 3 環境保全型農業を始めた者がいたが、現在は慣行農業を行っている
- 4 環境保全型農業を始めた者がいたが、現在は離農している

○問7-1で「2」～「4」と回答された方にお聞きします。

問7-2 希望者が新たに環境保全型農業を始めることができた理由は、具体的にどのようなものですか。

※ 該当するものについて、主なもの1つに「■」を付けてください。

①	②
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- 1 後継者として特別に指導したから
- 2 昔から希望者の研修受け入れや支援(農地の斡旋等)行っているから
- 3 交付金の活用等により、新たに希望者の研修受け入れや支援を行う体制を整備できたから
- 4 特別な支援はしていないが、団体として受け入れることで、販売先(共同販売等)を提供できたから
- 5 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

○全ての方にお聞きします。

問7-3 環境保全型農業を行う構成員(農業者)を増やしたいですか。

※ 最も近いもの1つに「■」を付けてください。

①	②
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- 1 希望者を募集しても増やしたい
- 2 希望者がいれば増やしたい
- 3 現在の農業者がいれば増やす必要はない

○問7-3で「1」と回答された方にお聞きします。

問7-4 交付金の取組により、環境保全型農業を行う構成員(農業者)を何人増やしたいという意向や目標のうち、どの程度達成できていますか。

※ 最も近いもの1つに「■」を付けてください。

①	②
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- 1 ほぼ達成できた
- 2 順調に達成に向かっている
- 3 達成は困難な状況だ

○問7-4で「3」と回答された方にお聞きします。

問7-5 その意向や目標の達成が困難な理由はどのようなものですか。

※ 該当するものについて、主なもの1つに「■」を付けてください。

①	②
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- 1 希望者がいない
- 2 希望者が環境保全型農業の技術の難しさに対応できない
- 3 行政機関との連携など組織的な取組ができていない
- 4 必要な費用を十分に工面できていない
- 5 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

【地域住民や消費者・実需者との交流について】

○全ての方にお聞きします。

問8-1 平成28年度に、環境保全型農業に関して地域住民や消費者・実需者との交流を実施しましたか。

※ 該当するものについて、主なもの1つに「■」を付けてください。

※ ここでいう「地域住民や消費者・実需者との交流」とは、団体の構成員が参加して実施する、農作業体験、田んぼの生きもの調査、消費者や実需者と継続的に意見交換等を行う産直協議会のような活動を指します。

- 1 実施していない
- 2 交付金を活用し実施した
- 3 交付金を活用せず参加費や講師料等により経費を捻出し実施した
- 4 ボランティアとして実施した

○問8-1で「2」～「4」と回答された方にお聞きします。

問8-2 実施した交流の内容はどのようなものですか。

※ 該当するものについて、主なもの1つに「■」を付けてください。

- 1 子どもたちとの交流（学校の課外授業等）
- 2 地域住民との交流（直売会等）
- 3 対象を限定しない一般の参加者との交流（体験教室等）
- 4 販売業者や企業との交流（意見交換会等）
- 5 販売している消費者との交流（収穫体験等）
- 6 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

○問8-1で「2」～「4」と回答された方にお聞きします。

問8-3 地域住民や消費者・実需者との交流を実施したことにより、参加者の環境保全型農業への理解の促進以外に、どのような効果があったと思いますか。

※ 最も当てはまるものについて、①の列に1つ「■」を付けてください。

また、その次に当てはまるものがある場合は、②の列に1つ「■」を付けてください。

①	②
---	---

- 1 営農活動の改善や販路拡大等の具体的な効果にはつながらなかった
- 2 取組面積の拡大につながった
- 3 より環境保全効果の高い技術の導入につながった
- 4 直売などによる売り上げの向上につながった
- 5 新たな販売先の開拓や商品開発につながった
- 6 農産物販売以外の収入（体験教室やグリーンツーリズム等の開催）につながった
- 7 新規就農者や転換者の拡大につながった
- 8 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

○問8-1で「2」～「4」と回答された方にお聞きします。

問8-4 交流を実施している理由は具体的にどのようなものですか。

※ 該当するものについて、主なもの1つに「■」を付けてください。

- 1 地域住民等からの要望に答えるため
- 2 地域住民等に環境保全型農業への理解を深めてもらうため
- 3 販路拡大・販売促進のため
- 4 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

○問8-1で「1」と回答された方にお聞きします。

問8-5 交流を実施できていない理由は具体的にどのようなものですか。

※ 該当するものについて、主なもの1つに「■」を付けてください。

- 1 参加者を募集したが集まらなかつたため
- 2 交流の実施に必要な時間・労力を確保できないから
- 3 交流の実施に必要な資金を準備できないから
- 4 どのように人を集めればよいか分からないから
- 5 どのような内容の交流を実施すればよいか分からないから
- 6 交流の実施にメリットを感じないから
- 7 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

【農産物の有利販売について】

○全ての方にお聞きします。

問9-1 交付金に取り組んで生産された農産物を慣行農産物に比べ高い価格で販売していますか。

※ 該当するものについて、主なもの1つに「■」を付けてください。

- 1 一般的の農産物と同価格で販売している
- 2 ブランド商品として差別化して有利販売している
- 3 認証(有機JAS、特別栽培等)により差別化して有利販売している
- 4 提携等の直接販売により有利販売している

○問9-1で「2」～「4」と回答された方にお聞きします。

問9-2 有利販売するために行なったことは具体的にどのようなものですか。

※ 最も当てはまるものについて、①の列に1つ「■」を付けてください。

また、その次に当てはまるものがある場合は、②の列に1つ「■」を付けてください。

① ②

- 1 既存の契約先へ販売しているため特段行ったことはない
- 2 規模拡大や組織的な営農によるまとまった量の農産物の確保
- 3 認証取得
- 4 交流会の実施等による口コミでの販売先の拡大
- 5 SNS等のインターネットやチラシ等による情報発信
- 6 直卖イベントなどでの売り込み
- 7 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

○問9-1で「1」と回答された方にお聞きします。

問9-3 有利販売できていない理由は具体的にどのようなものですか。

※ 該当するものについて、主なもの1つに「■」を付けてください。

- 1 買いたいという実需者がいるが条件が合わない
- 2 有利販売に向けた活動に必要な時間・労力を確保できないから
- 3 有利販売に向けた活動に必要な資金を準備できないから
- 4 誰に対してアピールすればよいか分からないから
- 5 どのような付加価値が求められているのか分からないから
- 6 ブランド化や販売先の開拓にメリットを感じないから
- 7 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

【農産物の有利販売について】(つづき)

○全ての方にお聞きします。

問9-4 販売している農産物の慣行農産物との価格差(手取価格ベース)はどの程度ありますか。

有機栽培(化学肥料・化学合成農薬の使用なし)レベル

①<水稻>

※ 該当するものすべてに「○」を付けてください。

販売先	有機JAS認証	1倍	1~1.1倍	1.2~1.3倍	1.4~1.5倍	1.6~2倍	2倍以上
JA	あり なし						
JA以外の卸売業者	あり なし						
生協	あり なし						
直接販売							
小売業者 (スーパー、レストラン等)	あり なし						
直売所、道の駅	あり なし						
消費者 (ネット販売等を含む)	あり なし						
その他	あり なし						

その他を選択した場合は、販売先を具体的に御記入ください。 []

②<水稻以外>

※ 水稲以外については、複数の作物を栽培している場合、販売価格が大きい作物区分に1つ「■」を付け、作物名を御記入ください。

- | | |
|-----------------------------------|------------|
| <input type="checkbox"/> <麦・豆類> | 作物名([]) |
| <input type="checkbox"/> <いも・野菜類> | 作物名([]) |
| <input type="checkbox"/> <果樹・茶類> | 作物名([]) |
| <input type="checkbox"/> <花き・その他> | 作物名([]) |

※ 該当するものすべてに「○」を付けてください。

販売先	有機JAS認証	1倍	1~1.1倍	1.2~1.3倍	1.4~1.5倍	1.6~2倍	2倍以上
JA	あり なし						
JA以外の卸売業者	あり なし						
生協	あり なし						
直接販売							
小売業者 (スーパー、レストラン等)	あり なし						
直売所、道の駅	あり なし						
消費者 (ネット販売等を含む)	あり なし						
その他	あり なし						

その他を選択した場合は、販売先を具体的に御記入ください。 []

【農産物の有利販売について】(つづき)

特別栽培(化学肥料・化学合成農薬を5割以上低減)レベル

①<水稻>

※ 該当するものすべてに「○」を付けてください。

販売先	特別栽培農産物認証	1倍	1~1.1倍	1.2~1.3倍	1.4~1.5倍	1.6~2倍	2倍以上
JA	あり なし						
JA以外の卸売業者	あり なし						
生協	あり なし						
直接販売							
小売業者 (スーパー、レストラン等)	あり なし						
直売所、道の駅	あり なし						
消費者 (ネット販売等を含む)	あり なし						
その他	あり なし						

その他を選択した場合は、販売先を具体的に御記入ください。 []

②<水稻以外>

※ 水稲以外については、複数の作物を栽培している場合、販売価格が大きい作物区分に1つ「■」を付け、作物名を御記入ください。

- <麦・豆類> 作物名([])
- <いも・野菜類> 作物名([])
- <果樹・茶類> 作物名([])
- <花き・その他> 作物名([])

※ 該当するものすべてに「○」を付けてください。

販売先	特別栽培農産物認証	1倍	1~1.1倍	1.2~1.3倍	1.4~1.5倍	1.6~2倍	2倍以上
JA	あり なし						
JA以外の卸売業者	あり なし						
生協	あり なし						
直接販売							
小売業者 (スーパー、レストラン等)	あり なし						
直売所、道の駅	あり なし						
消費者 (ネット販売等を含む)	あり なし						
その他	あり なし						

その他を選択した場合は、販売先を具体的に御記入ください。 []

御協力ありがとうございました。なお、調査結果は個々の秘密を厳守し、調査目的以外に使用することはありません。

**環境保全型農業直接支払交付金に関するアンケート調査票
(② 実施市町村用)**

都道府県名 _____
市町村名 _____
担当者名 _____
電話番号 _____

環境保全型直接支払の取組を開始した年度 平成 _____ 年度(平成23~28年度のいずれか)
支援対象件数 件(平成28年度実績)

中山間地域への該当 : 1 全域が該当
 2 一部地域が該当
 3 該当無し

<留意事項>

※ 黄色く着色した部分について、御回答をお願いします。セルの削除、挿入は行わないでください。

※ 本交付金における中山間地とは、(1)地域振興立法(8法)の指定地域及び(2)農林統計の農業地域類型区分の中間農業地域及び山間農業地域を指します。

<全ての市町村にお聞きします。>

問1-1 貴市町村では、地域の自然環境に課題がありますか。

※ 下表の問1-1の列に、該当するものすべてに「○」を付けてください。

課題の種類	問1-1	問1-2 (1~3)	問1-3 (1~5)
A 地球温暖化の緩和			
B 生きものの生息・生育場所の減少			
C 土壤侵食			
D 土壤劣化			
E 湖や河川の水質悪化			
F 地下水汚染			
G 耕作放棄地の増加			
H 特にない			
I その他			

その他を選択した場合は、以下に具体的に記入してください。

<問1-1で「H」以外に「○」を付けられた市町村にお聞きします。>

問1-2 その課題をどの程度解決できていますか。

※ 上表の問1-2の列に、以下の1~3のうち該当する番号を御記入ください。

- 1 ほぼ解決できた
- 2 順調に解決に向かっている
- 3 解決は困難な状況だ

<問1-2で「3」と回答された市町村にお聞きします。>

問1-3 課題の解決が困難な理由はどのようなものですか。

※ 上表の問1-3の列に、以下の1~5のうち該当する番号を御記入ください。

- 1 関係先との連携など組織的な取組ができていない
- 2 必要な費用を十分に工面できていない
- 3 効果的な解決策が見つかっていない
- 4 地域住民や周辺農家の理解が十分ではない
- 5 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

<全ての市町村にお聞きします。>

問2 貴市町村では、より交付金の活用を広めるためにどのような活動をしていますか。

※ 最も当てはまるものについて、①の列に1つ「■」を付けてください。

また、その次に当てはまるものがある場合は、②の列に1つ「■」を付けてください。

(1) (2)

- 1 県の活動以外は特にない
- 2 独自のパンフレットの作成・配布
- 3 環境保全型農業に関心のある農業者を集めた説明会
- 4 現場で直接、農業者へ制度を紹介
- 5 生き物調査の実施等による環境保全型農業の効果の普及
- 6 アンケート等による交付金のニーズ調査
- 7 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

<全ての市町村にお聞きします。>

問3-1 市町村として、実施要領第4の3に基づく地域独自の要件を設定していますか。

※ 該当するもの1つに「■」を付けてください。「2」と回答した場合は、その予定年度を記入してください。

- 1 設定している
- 2 設定する予定である
- 3 設定していない

(平成 _____ 年度)

<問3-1で「1」または「2」と回答された市町村にお聞きします。>

問3-2 それはどんな要件ですか。

※ 具体的に記入してください。

<問3-1で「1」と回答された市町村にお聞きします。>

問3-3 その要件により、下表に挙げるような効果がどの程度あったと思われますか。

※ 各項目について、以下の1~6のうち該当する番号を御記入ください。

- 1 ほとんど(8割以上)の支援対象者で効果が発現している
- 2 大半(5~8割程度)の支援対象者で効果が発現している
- 3 一部(2~5割程度)の支援対象者で効果が発現している
- 4 効果の発現が限定的(2割以下)である
- 5 効果の発現がみられない
- 6 該当なし

効果項目		回答(1~6)
A	環境保全型農業の取組者数の増加	
B	環境保全型農業の取組面積の拡大	
C	収量増加	
D	品質向上	
E	生産コストの削減	
F	販路拡大	
G	有利販売	
H	新規就農・転換者の増加	
I	地域の活性化	
J	その他	

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

<全ての市町村にお聞きします。>

問4-1 市町村として、交付金とは別に、単独事業など市町村事業として環境保全型農業に対する独自の支援をしていますか。

※ 該当するもの1つに「■」を付けてください。「2」と回答した場合は、その予定年度を記入してください。

- 1 支援している
 2 支援する予定である
 3 支援していない

(平成 _____ 年度)

<問4-1で「1」または「2」と回答された市町村にお聞きします。>

問4-2 その独自の支援はどんな内容ですか。

※ 具体的に記入してください。

例)取組面積を3ha拡大した際、3万円/10aを支払う面積拡大加算を実施(拡大した農地において3年間取組を維持する条件付き)

<問4-1で「1」と回答された市町村にお聞きします。>

問4-3 その支援により、下表に挙げるような効果がどの程度あったと思われますか。

※ 各項目について、以下の1~6のうち該当する番号を御記入ください。

- 1 ほとんど(8割以上)の支援対象者で効果が発現している
2 大半(5~8割程度)の支援対象者で効果が発現している
3 一部(2~5割程度)の支援対象者で効果が発現している
4 効果の発現が限定的(2割以下)である
5 効果の発現がみられない
6 該当なし

	効果項目	回答(1~6)
A	環境保全型農業の取組者数の増加	
B	環境保全型農業の取組面積の拡大	
C	収量増加	
D	品質向上	
E	生産コストの削減	
F	販路拡大	
G	有利販売	
H	新規就農・転換者の増加	
I	地域の活性化	
J	その他	

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

<全ての市町村にお聞きします。>

問5-1 平成31年度までに、交付金の取組をどのようにしたいと考えていますか。

※ 右表の問5-1の列に取組の種類それぞれについて、以下の1～5のうち該当する番号を御記入ください。

※ 各都道府県における地域特認1～16の該当については、別紙を参照してください。該当する分類の取組が都道府県にはない場合は空欄で結構です。

- 1 拡大したい
- 2 現在は取り組んでいないが、今後取組を検討したい
- 3 現状程度で続けたい
- 4 縮小したい
- 5 今後とも取り組む予定はない

<問5-1で、「1」と回答された市町村にお聞きします。>

問5-2 予定どおり取組の拡大が進んでいますか。

※ 右表の問5-2の列に以下の1～3のうち該当する番号を御記入ください。

※ 問3-1で「3」と回答された場合は、予定どおり取り組みを開始できそうか否かという観点から回答してください。

- 1 予定より早く進んでいる
- 2 予定どおり進んでいる
- 3 予定どおり進んでいない

<問5-2で、「3」と回答された市町村にお聞きします。>

問5-3 拡大の支障になっているものはどのようなものですか。

※ 右表の問5-3の列に以下の1～6のうち該当する番号を御記入ください。

- 1 環境保全型農業への理解不足
- 2 環境保全型農業の技術不足
- 3 組織的な推進体制の不備
- 4 高齢化や担い手不足
- 5 経営の不安定さ
- 6 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

取組の種類	問5-1 (1～5)	問5-2 (1～3)	問5-3 (1～6)	問5-4 (1～5)
カバークロップ(緑肥)の作付け				
堆肥の施用				
有機農業				
地域特認取組 (1) リビングマルチ				
地域特認取組 (2) 草生栽培				
地域特認取組 (3) 冬期湛水管理				
地域特認取組 (4) IPM①				
地域特認取組 (5) IPM②				
地域特認取組 (6) 江の設置				
地域特認取組 (7) バンカープランツ				
地域特認取組 (8) 中干し延期				
地域特認取組 (9) 夏期湛水管理				
地域特認取組 (10) 在来草生栽培				
地域特認取組 (11) 炭の投入				
地域特認取組 (12) 魚類保護				
地域特認取組 (13) 敷草栽培				
地域特認取組 (14) 省耕起栽培				
地域特認取組 (15) 緩効性肥料				
地域特認取組 (16) 光利用技術				

<問5-1で、「1」～「4」と回答された市町村にお聞きします。>

問5-4 地球温暖化防止や生物多様性保全以外の自然環境の保全を目的とした取組はありますか。それはどのような目的ですか。

※ 上表の問5-4の列に、該当する取組がある場合は、以下の1～5のうち該当する目的の番号を御記入ください。

- 1 土壌侵食防止
- 2 土壤劣化改善
- 3 湖や河川の水質保全
- 4 地下水の保全
- 5 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

<全ての市町村にお聞きします。>

問6-1 貴市町村内で、以前交付金に取り組んでいたが、交付金の申請をやめた農業者はいましたか。

※ 該当するもの1つに「■」を付けてください。

- 1 いた
 2 いなかった
 3 把握していない

<問6-1で「1」と回答された市町村にお聞きします。>

問6-2 平成27年度以降、交付金の申請をやめた理由はどのようなものですか。

※ 最も当てはまるものについて、①の列に1つ「■」を付けてください。
また、その次に当てはまるものがある場合は、②の列に1つ「■」を付けてください。

(1) (2)

- 1 高齢化により農業をやめたまたは慣行栽培に戻ったため
 2 周辺に環境保全型農業に取り組む者がおらず、組織化ができないため
 3 「集落の耕地面積の一定割合以上の農地において、対象活動を行う」という条件を満たせないため
 4 周辺に環境保全型農業を志向する者がいるが、組織化を目指した活動が負担となるため
 5 交付金の減額措置により、環境保全型農業の取組自体をやめたため
 6 交付金の減額措置により、交付金の申請をやめたため(環境保全型農業の取組自体は継続)
 7 その他
 8 把握していない

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

<全ての市町村にお聞きします。>

問7 交付金の取組開始後5年以下の支援対象者と、取組開始後6年以上経過する支援対象者でどのような違いが生じていますか。

※ 各項目について、以下の1~4のうち該当する番号を御記入ください。

- 1 継続して取組を行う支援対象者の多くで効果が高い
2 継続して取組を行う支援対象者の一部で効果が高い
3 効果に違いは見られない
4 取組開始後6年以上経過する支援対象者がいない

効果項目		回答(1~4)
A	経営の安定	
B	収量増加	
C	品質向上	
D	生産コストの削減	
E	販路拡大	
F	有利販売	
G	新規就農・転換者の増加	
H	地域の活性化	
I	その他	

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

【特別栽培農産物認証の取組状況について】

<全ての市町村にお聞きします。>

問8 貴市町村において、交付金による支援を受けることが特別栽培農産物の認証取得につながっていますか。

※ 最も近いもの1つに「■」を付けてください。

- 1 ほとんど(8割以上)の支援対象者で効果が発現している
- 2 大半(5~8割程度)の支援対象者で効果が発現している
- 3 一部(2~5割程度)の支援対象者で効果が発現している
- 4 効果の発現が限定的(2割以下)である
- 5 効果の発現がみられない

【有機JAS認証の取組状況について】

<全ての市町村にお聞きします。>

問9 貴市町村において、交付金による支援を受けることが有機JAS認証取得につながっていますか。

※ 最も近いもの1つに「■」を付けてください。

- 1 ほとんど(8割以上)の支援対象者で効果が発現している
- 2 大半(5~8割程度)の支援対象者で効果が発現している
- 3 一部(2~5割程度)の支援対象者で効果が発現している
- 4 効果の発現が限定的(2割以下)である
- 5 効果の発現がみられない

【GAPの取組状況について】

<全ての市町村にお聞きします。>

問10 貴市町村において、交付金による支援を受けることがGAPの認証取得につながっていますか。

※ 最も近いもの1つに「■」を付けてください。

- 1 ほとんど(8割以上)の支援対象者で効果が発現している
- 2 大半(5~8割程度)の支援対象者で効果が発現している
- 3 一部(2~5割程度)の支援対象者で効果が発現している
- 4 効果の発現が限定的(2割以下)である
- 5 効果の発現がみられない

【持続的に耕作可能な農地の維持について】

<全ての市町村にお聞きします。>

問11 貴市町村において、交付金による支援を受けることが今後も持続的に耕作可能な農地の維持につながっていますか。

(ここでいう、持続的に耕作可能な農地とは、土壤劣化や連作障害などの課題を抱えることなく安定的に営農活動を継続できている状態のことです。)

※ 最も近いもの1つに「■」を付けてください。

- 1 ほとんど(8割以上)の支援対象者で効果が発現している
- 2 大半(5~8割程度)の支援対象者で効果が発現している
- 3 一部(2~5割程度)の支援対象者で効果が発現している
- 4 効果の発現が限定的(2割以下)である
- 5 効果の発現がみられない

【安定的な経営状況の確保について】

<全ての市町村にお聞きします。>

問12 貴市町村において、交付金による支援を受けることが今後も安定的な経営状況を継続できる収入の維持につながっていますか。

※ 最も近いもの1つに「■」を付けてください。

- 1 ほとんど(8割以上)の支援対象者で効果が発現している
- 2 大半(5~8割程度)の支援対象者で効果が発現している
- 3 一部(2~5割程度)の支援対象者で効果が発現している
- 4 効果の発現が限定的(2割以下)である
- 5 効果の発現がみられない

【新規就農者や慣行農業からの転換者の参入・定着について】

<全ての市町村にお聞きします。>

問13 貴市町村において、交付金による支援を受けることが環境保全型農業への新規就農や転換につながっていますか。

※ 最も近いもの1つに「■」を付けてください。

- 1 ほとんど(8割以上)の支援対象者で効果が発現している
- 2 大半(5~8割程度)の支援対象者で効果が発現している
- 3 一部(2~5割程度)の支援対象者で効果が発現している
- 4 効果の発現が限定的(2割以下)である
- 5 効果の発現がみられない

【地域住民や消費者・実需者との交流について】

<全ての市町村にお聞きします。>

問14 貴市町村において、交付金による支援を受けることが地域住民や消費者・実需者との交流(生協などの協議会の設置、生き物調査、農作業体験など)の拡大につながっていますか。

※ 最も近いもの1つに「■」を付けてください。

- 1 ほとんど(8割以上)の支援対象者で効果が発現している
- 2 大半(5~8割程度)の支援対象者で効果が発現している
- 3 一部(2~5割程度)の支援対象者で効果が発現している
- 4 効果の発現が限定的(2割以下)である
- 5 効果の発現がみられない

【農産物の有利販売について】

<全ての市町村にお聞きします。>

問15 貴市町村において、交付金による支援を受けることが農産物の有利販売につながっていますか。

※ 最も近いもの1つに「■」を付けてください。

- 1 ほとんど(8割以上)の支援対象者で効果が発現している
- 2 大半(5~8割程度)の支援対象者で効果が発現している
- 3 一部(2~5割程度)の支援対象者で効果が発現している
- 4 効果の発現が限定的(2割以下)である
- 5 効果の発現がみられない

【地域資源の保全・活用について】

<全ての市町村にお聞きします。>

問16-1 貴市町村において、交付金による支援を受けることが未利用農地等の地域資源の保全・活用につながっていますか。

※ 最も近いもの1つに「■」を付けてください。

- 1 ほとんど(8割以上)の支援対象者で効果が発現している
- 2 大半(5~8割程度)の支援対象者で効果が発現している
- 3 一部(2~5割程度)の支援対象者で効果が発現している
- 4 効果の発現が限定的(2割以下)である
- 5 効果の発現がみられない

<全ての市町村にお聞きします。>

問16-2 地域資源の保全にどのような課題がありますか。ある場合は、どのような地域資源の活用を目指していますか。

※ 右表の問16-2の列に、該当するものについて、主なもの1つに「○」を付けてください。

地域資源の種類	問16-2	問16-3 (1~3)	問16-4 (1~5)
A 荒廃農地・未利用農地の増加			
B 地域で出た家畜排泄物の処理			
C 地域で出た生ごみの活用			
D 地域で出た間伐材の活用			
E 特にない			
F その他			

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

<問16-2で「E」以外に「○」を付けられた市町村にお聞きします。>

問16-3 交付金の取組により、その課題をどの程度解決できていますか。

※ 上表の問16-3の列に以下の1~3のうち該当する番号を御記入ください。

- 1 ほぼ解決できた
- 2 順調に解決に向かっている
- 3 解決は困難な状況だ

<問16-3で「3」と回答された市町村にお聞きします。>

問16-4 課題の解決が困難な理由はどのようなものですか。

※ 上表の問16-4の列に以下の1~5のうち該当する番号を御記入ください。

- 1 関係先との連携など組織的な取組ができていない
- 2 必要な費用を十分に工面できていない
- 3 効果的な解決策が見つかっていない
- 4 地域住民や周辺農家の理解が十分ではない
- 5 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

【環境保全型農業直接支払交付金の制度に関して】

○地域特認取組は、地域の環境や農業の実態等を踏まえた多様な取組を支援するためのものです。

<全ての市町村にお聞きします。>

問17 貴市町村において、支援対象活動についてどのようにお考えですか。

※ 最も近いもの1つに「■」を付けてください。

- 1 現在の全国共通取組で十分な支援が可能である
- 2 現在の全国共通取組と地域特認取組で十分な支援が可能である
- 3 市町村内で独自に行う取組(単独事業)があり、地域特認取組を申請する予定がある
- 4 市町村内で独自に行う取組(単独事業)があるが地域特認取組を申請する予定はない
- 5 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

支援対象活動について、御意見があれば自由に記入してください。

○平成27年度から交付金の対象者を農業者の組織する団体を基本としました。

一方で、市町村が特に認める一定の条件を満たす農業者

- 1 集落の耕地面積の一定割合以上の農地において対象活動を行う者
- 2 環境保全型農業を志向する他の農業者と連携して環境保全型農業の拡大を目指す取組を行う農業者
- 3 複数の農業者で構成される法人

も対象者として認めています。

<全ての市町村にお聞きします。>

問18 貴市町村において、支援対象者(一定の条件を満たす農業者)についてどのようにお考えですか。

※ 最も当てはまるものについて、①の列に1つ「■」を付けてください。

また、その次に当てはまるものがある場合は、②の列に1つ「■」を付けてください。

(1) (2)

- 1 一定の条件を満たす農業者を対象者として認めることで環境保全型農業の拡大につながっている
- 2 一定の条件を満たすかどうかを審査する市町村側の負担が大きい
- 3 一定の条件を満たす農業者を対象者として認めることで組織化の妨げになっている
- 4 他の農業者と連携して環境保全型農業の拡大を目指す農業者が行うべき組織化に向けた活動が十分ではない
- 5 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

支援対象者について、御意見があれば自由に記入してください。

○交付金は、化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動(対象取組)の実施に伴い発生する掛かり増し経費(種子代、肥料費、労働費など)に対して支払われるものです。

<全ての市町村にお聞きします。>

問19 貴市町村において、交付単価についてどのようにお考えですか。

※ 各項目について、以下の1~3のうち該当する番号を御記入ください。

- 1 現在の交付単価は高すぎる
- 2 現在の交付単価が適当
- 3 現在の交付単価は安すぎる

項目	回答(1~3)
A カバークロップ	
B 有機農業	
C 堆肥の施用	
D 地域特認取組	

「1」または「3」と回答した方は、交付単価についての改善案を具体的に記入してください。

御協力ありがとうございました。なお、調査結果は個々の秘密を厳守し、調査目的以外に使用することはありません。

環境保全型農業直接支払交付金に関するアンケート調査票 (③ 未実施市町村用)

都道府県名 _____
市町村名 _____
担当者名 _____
電話番号 _____

<留意事項>

※ 黄色く着色した部分について、御回答をお願いします。セルの削除、挿入は行わないでください。

<全ての市町村にお聞きします。>

問1-1 貴市町村では、地域の自然環境に課題がありますか。

※ 下表の問1-1の列に、該当するものすべてに「○」を付けてください。

課題の種類	問1-1	問1-2 (1~3)	問1-3 (1~5)
A 地球温暖化の緩和			
B 生きものの生息・生育場所の減少			
C 土壤侵食			
D 土壌劣化			
E 湖や河川の水質悪化			
F 地下水汚染			
G 耕作放棄地の増加			
H 特にない			
I その他			

その他を選択した場合は、以下に具体的に記入してください。

<問1-1で「H」以外に「○」を付けられた市町村にお聞きします。>

問1-2 その課題をどの程度解決できていますか。

※ 上表の問1-2の列に、以下の1~3のうち該当する番号を御記入ください。

- 1 ほぼ解決できた
- 2 順調に解決に向かっている
- 3 解決は困難な状況だ

<問1-2で「3」と回答された市町村にお聞きします。>

問1-3 課題の解決が困難である一方、交付金に取り組まない理由はどのようなものですか。

※ 上表の問1-3の列に、以下の1~5のうち該当する番号を御記入ください。

- 1 関係先との連携など組織的な取組ができていない
- 2 必要な費用を十分に工面できていない
- 3 効果的な解決策が見つかっていない
- 4 地域住民や周辺農家の理解が十分ではない
- 5 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

<全ての市町村にお聞きします。>

問2-1 貴市町村内で、以前交付金に取り組んでいたが、交付金の申請をやめた農業者はいましたか。

※ 該当するもの1つに「■」を付けてください。

- 1 いた
- 2 いなかった
- 3 把握していない

<問2-1で「1」と回答された市町村にお聞きします。>

問2-2 平成27年度以降、交付金の申請をやめた理由はどのようなものですか。

※ 最も当てはまるものについて、①の列に1つ「■」を付けてください。

また、その次に当てはまるものがある場合は、②の列に1つ「■」を付けてください。

(1) (2)

- 1 高齢化により農業をやめたまたは慣行栽培に戻ったため
- 2 周辺に環境保全型農業に取り組む者がおらず、組織化ができないため
- 3 「集落の耕地面積の一定割合以上の農地において、対象活動を行う」という条件を満たせないため
- 4 周辺に環境保全型農業を志向する者がいるが、組織化を目指した活動が負担となるため
- 5 交付金の減額措置により、環境保全型農業の取組自体をやめたため
- 6 交付金の減額措置により、交付金の申請をやめたため（環境保全型農業の取組み自体は継続）
- 7 その他
- 8 把握していない

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

<全ての市町村にお聞きします。>

問3-1 平成31年度までに、交付金の取組をどのようにしたいと考えていますか。

※ 取組の種類それぞれについて、以下の1~3のうち該当する番号を御記入ください。

※ 各都道府県における地域特認1~16の該当については、別紙を参照してください。該当する分類の取組が都道府県にはない場合は空欄で結構です。

- 1 既に環境保全型農業を行う者の交付金の申請を増やしたい
- 2 新たに環境保全型農業を行う者を増やしたい
- 3 今後とも取り組む予定はない

取組の種類	問3-1 (1~3)	問3-2 農業者側 (1~5)	問3-2 行政側 (1~4)	問3-3 (1~5)
カバークロップ(緑肥)の作付け				
堆肥の施用				
有機農業				
地域特認取組 (1) リビングマルチ				
地域特認取組 (2) 草生栽培				
地域特認取組 (3) 冬期湛水管理				
地域特認取組 (4) IPM①				
地域特認取組 (5) IPM②				
地域特認取組 (6) 江の設置				
地域特認取組 (7) バンカーブランツ				
地域特認取組 (8) 中干し延期				
地域特認取組 (9) 夏期湛水管理				
地域特認取組 (10) 在来草生栽培				
地域特認取組 (11) 炭の投入				
地域特認取組 (12) 魚類保護				
地域特認取組 (13) 敷草栽培				
地域特認取組 (14) 省耕起栽培				
地域特認取組 (15) 緩効性肥料				
地域特認取組 (16) 光利用技術				

<問3-1で「1」または「2」と回答された市町村にお聞きします。>

問3-2 貴市町村において、交付金に取り組むためにはどのような課題を解決する必要があると感じますか。

※ 上表の農業者側、行政側のそれぞれの列に、以下の1~5および1~4のうち該当する番号を御記入ください。

<農業者側>

- 1 環境保全型農業の技術向上
- 2 組織化の推進
- 3 交付単価の増額
- 4 事務手続きの負担軽減
- 5 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

<行政側>

- 1 事務手続きに割く人員の確保
- 2 支援に必要な財政確保
- 3 農業者等への理解の醸成
- 4 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

<問3-1で「1」または「2」と回答された市町村にお聞きします。>

問3-3 地球温暖化防止や生物多様性保全以外の自然環境の保全を目的とした取組はありますか。それはどのような目的ですか。

※ 上表の問3-3の列に、該当する取組がある場合は、以下の1~5のうち該当する目的の番号を御記入ください。

- 1 土壤侵食防止
- 2 土壤劣化改善
- 3 湖や河川の水質保全
- 4 地下水の保全
- 5 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

<全ての市町村にお聞きします。>

問4-1 貴市町村では、交付金を活用せず、環境保全型農業に取り組んでいる農業者がいますか。

※ 該当するもの1つに「■」を付けてください。

- 1 いる
- 2 いない
- 3 把握していない

<問4-1で「1」と回答された市町村にお聞きします。>

問4-2 環境保全型農業を実施しているにもかかわらず、交付金を活用していない理由はどのようなものですか。

※ 該当するものについて、主なもの1つに「■」を付けてください。

- 1 交付金に頼らずとも持続的に耕作可能な農地が維持できているから
- 2 交付金に頼らずとも安定的な経営状況が確保できているから
- 3 申請等に係る事務作業が面倒だから
- 4 環境直接支払以外の補助を受けているから
- 5 交付金に頼りたくないから
- 6 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

<問4-1で「1」と回答された市町村にお聞きします。>

問4-3 交付金を活用せず環境保全型農業を実施できている理由はどのようなものですか。

※ 該当するものについて、主なもの1つに「■」を付けてください。

- 1 再生産可能な価格で買い取ってもらえる契約先(JAや生協等)があるから
- 2 再生産可能な価格で買い取ってもらえる販売先(消費者への直接販売等)があるから
- 3 慣行栽培と同程度のコストで生産できているから
- 4 加工などにより、付加価値をつけた販売ができているから
- 5 農業以外の収入があるから
- 6 その他

その他を選択した場合は、具体的に御記入ください。

御協力ありがとうございました。なお、調査結果は個々の秘密を厳守し、調査目的以外に使用することはありません。